

2019 年度

# 事業報告書

自： 2019 年 4 月 1 日  
至： 2020 年 3 月 31 日

一般財団法人 熱・電気エネルギー技術財団

## I 概況

2019年4月1日から2020年3月31日までの当財団の状況について

今期は、通常の事業に加え、研究助成事業において昨年度に引き続き、通常募集の他に新たに特別募集を行いました。

まず、研究助成事業の第27回研究助成では、前述の通り通常募集と特別募集を行いました。応募総数は、通常募集が43件、特別募集が13件の合わせて56件となりました。厳正な審査の結果、通常募集10件、特別募集2件を選出し、研究助成金を交付しました。

次に技術研究会・セミナー事業では、「CF研究会第20年会」への協賛、さらに「研究助成対象者講演会」を開催し、平成30年度助成対象者のうち3名から研究内容を講演して頂きました。

技術研究会は、研究会委員の方々のご協力を得て2回開催しました。第74回技術研究会は京都大学名誉教授 小久見善八氏、第75回技術研究会は東千代田化工建設株式会社 技師長 岡田佳巳氏にそれぞれ講師をお願い致しました。なお、第76回技術研究会は新型コロナウイルス感染症対策のため延期されました。

第26回ミノル記念講演会では「21世紀の国際政治経済の潮流」と題して、北海道大学大学院教授 遠藤乾氏からご講演を頂きました。

調査研究事業では、「排熱利用における先端技術調査」について委託調査を実施しました。

最後に、会報誌TEET Review028号では、前述のシンポジウムやミノル記念講演会、研究助成目録贈呈式、レセプションなどの様子について、また巻頭にはミノル記念講演会の講演内容を掲載し発行しました。

今期の決算報告では、収益として基本財産・特定資産の運用益、賛助会員法人6社による賛助金5,300,000円及び個人会員による賛助金70,000円を合わせて、合計6,588,743円の運用益を計上、総費用として52,684,557円(公益目的支出額48,011,052円、管理費4,603,505円、均等割税金70,000円)を計上し、期末の正味財産額は683,085,355円となりました。

2020年度においても、一般財団としてより一層社会に貢献できるよう、鋭意各事業に取り組む所存です。

引き続きご指導、ご鞭撻、ご協力のほどをお願い申し上げます。

# I 総務に関する事項

## 1. 理事会

### (1) 第 24 回通常理事会

2019年5月22日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 平成 30 年度事業報告について承認を求める件
- ② 平成 30 年度決算報告について承認を求める件
- ③ 賛助会員の追加について承認を求める件
- ④ 報告事項:1 任期满了に伴う役員(理事・監事)の再任について  
2 任期满了に伴う評議員の再任について

### (2) 2019 年度第 1 回臨時理事会

2019年5月22日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- 代表理事の選定について承認を求める件

### (3) 第 25 回通常理事会

2019年12月12日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2019 年度事業中間報告について承認を求める件
- ② 2019 年 11 月 28 日開催の選考委員会選出による第 27 回研究助成テーマ対象者について承認を求める件
- ③ 報告事項:役員(理事)1名の辞任及び就任について

### (4) 書面決議

- ① 2019 年 4 月 18 日、次の通り書面決議が行われた。

- ・第 1 号議案:評議員候補者の推薦について承認を求める件

定款第 11 条(評議員の選任及び解任)第 4 項の定めにより、評議員候補者を理事会に諮る必要があるため、書面決議を行った。

- ・第 2 号議案:評議員会における評議員の推薦の書面決議について承認を求める件

定款第 11 条(評議員の選任及び解任)第 4 項の定めにより、評議員候補者を評議員会に諮る必要があるため、書面決議を行った。

- ② 2019 年 4 月 18 日、次の通り書面決議が行われた。

- ・議案:第 24 回評議員会議案について承認を求める件

定款第 15 条(権限)第 1 項の定めにより、理事会に先立ち評議員会を開催し、理事の選任を諮る必要があるため、書面決議を行った。

- ③ 2019 年 11 月 28 日、次の通り書面決議が行われた。
- ・議案:第 25 回評議員会議案について承認を求める件  
定款第 15 条(権限)第 1 項の定めにより、理事会に先立ち評議員会を開催し、理事の就任・辞任を諮る必要があるため、書面決議を行った。
- ④ 2020 年 3 月 31 日、第 26 回理事会について次の通り書面決議が行われた。
- 新型コロナウイルス感染症への対応のため、2020 年 3 月中に次年度事業計画及び予算、研究助成選考委員の再任及び就任の承認を諮る必要があるため、書面での決議を行った。
- ・第 1 号議案: 2020 年度事業計画案について承認を求める件
  - ・第 2 号議案: 2020 予算案について承認を求める件
  - ・第 3 号議案: 研究助成テーマ選考委員の再任及び新任について承認を求める件
  - ・第 4 号議案: 2020 年 3 月開催の第 26 回評議員会議案について承認を求める件

## 2. 評議員会

### (1) 第 24 回評議員会

2019 年 5 月 22 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 平成 30 年度事業報告について承認を求める件
- ② 平成 30 年度決算報告について承認を求める件
- ③ 任期満了に伴う役員(理事・監事)の再任について承認を求める件
- ④ 賛助会員の追加について承認を求める件
- ⑤ 報告事項: 任期満了に伴う評議員の再任について

### (2) 第 25 回評議員会

2019 年 12 月 12 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2019 年度事業中間報告について承認を求める件
- ② 2019 年 11 月 28 日開催の選考委員会選出による第 27 回研究助成テーマ対象者について承認を求める件
- ③ 役員(理事)1 名の辞任及び就任について承認を求める件

### (3) 書面決議

①2019年4月18日、次の通り書面決議が行われた。

・議案:評議員候補者の推薦について承認を求める件

定款第11条(評議員の選任及び解任)第4項の定めにより、評議員候補者を評議員会に諮る必要があるため、書面決議を行った。

②2020年3月31日、第26回評議員会について次の通り書面決議が行われた。

新型コロナウイルス感染症への対応のため、2020年3月中に次年度事業計画及び予算、研究助成選考委員の再任及び就任の承認を諮る必要があるため、書面での決議を行った。

・第1号議案「2020年度事業計画案について承認を求める件」

・第2号議案「2020予算案について承認を求める件」

・報告事項:研究助成テーマ選考委員の再任及び新任について

### 3. 評議員選定委員会

2019年4月23日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

議案:評議員選定について承認を求める件

### 4. その他

2019年6月20日、内閣府宛公益目的支出計画実施報告書等を提出した。



料などについて詳細に説明があり、課題として特に安全性や耐久性、また次世代のリチウムイオン電池や革新二次電池の課題など多岐にわたって説明された。

(2) 第75回技術研究会

□ テーマ： 水素の大規模貯蔵輸送技術の開発と今後の展望

□ 講師： 千代田化工建設株式会社

技術開発部兼水素チェーン事業推進部

技師長 岡田 佳巳 氏

□ 開催日： 2019年10月24日(木)

□ 会場： TKP 新橋カンファレンスセンター

□ 出席者： 委員長 太田 健一郎

委員 赤井 誠 小山 昇 笠木 治郎太

岸田 昌浩 國松 敬二 谷口 富裕

松井 一秋 吉野 淳二

オブザーバー：

中島 護 (賛助会員) 荘司 紀夫 (賛助会員)

山口 剛史 (賛助会員)

鈴木 泰寛 (財団理事長) 亀井 淳史 (財団理事)

事務局： 桜井 章喜 (事務局長) 五十嵐 加代子

富村 紘一

□ 要旨：

講演は、資料に基づき、水素基本戦略の概要、水素輸送技術の現状と課題、次世代火力発電技術ロードマップに始まり、SPERA 水素システム、水素サプライチェーン、他会社との実証事業など詳細に説明があり、最後に CO<sub>2</sub> の削減に向けた各分野における水素エネルギーの利用展開など多岐にわたって説明された。

(3) 第76回研究会は、新型コロナウイルス感染症対策のため延期されました。

(4) 研究助成対象者講演会

□ 平成30年度第26回研究助成対象者3名による講演

□ 開催日： 2019年7月30日

□ 出席者： 選考委員会、技術研究会、理事、評議員、賛助会員など20名

□ 会場： TKP 新橋カンファレンスセンター14B

□ プログラム:

講演Ⅰ	「東北大における凝縮系核反応に関する研究状況」 東北大学 電子光理学研究センター 特任教授 岩村 康弘 氏
講演Ⅱ	「イリジウム錯体触媒を活用する水素製造法の開発」 京都大学大学院 教授 藤田 健一 氏
講演Ⅲ	「複合自由度を活用した固体冷凍材料の開拓」 名古屋大学大学院 准教授 片山 尚幸 氏

(5) CF 研究会第 20 年会への協賛

- 目的: CF(固体内核反応)の最新の研究成果の発表、研究討議を行うことでCF研究の昂揚・発展に寄与する。
- 開催日:2019年12月13日(金)～14日(土)
- 場所:リファレンス駅東ビル 2F T 会議室(福岡県)

(6) 第 26 回ミノル記念講演会

- テーマ:「21 世紀の国際政治経済の潮流」  
～ヘゲモニー国家と米中スーパー多国籍企業～
- 開催日:2019年12月12日
- 会場:帝国ホテル 本館「菊の間」
- 講演者:北海道大学大学院 教授 遠藤 乾 氏
- 出席者:80名(招待)
- 要旨:20世紀、21世紀を振り返りながらヘゲモニー国家とは何か、米中スーパー多国籍企業(GAFA, BAT 等)への対応など非常に興味深い講演だった。

3. 研究助成(定款第 3 条 4 号関係)

(1) 研究助成選考委員会(2019 年度募集項目等について)



2019年7月30日、新橋TKPカンファレンスセンターにおいて開催され、第26回研究助成募集について、次のI及びIIについて確認された。

□ 出席委員            太田 健一郎    笠木 治郎太    亀井 淳史  
                            岸田 昌浩        國松 敬二(委員長)  
                            吉野 淳二  
理事                    鈴木 泰寛(理事長)  
事務局                桜井 章喜(事務局長)                    五十嵐 加代子

I 2019年度研究助成募集要項案について

國松委員長より、今年度通常募集項目および特別募集の応募条件の確認などの説明があり、審議の結果、以下の通り決定した。

変更点:

○募集要項(通常)の6.助成金額の欄は、次の通りに改める。

→総額1,000万円(100万円×10名予定)

○応募書類の添付別紙2「業績リスト」は、次の通りに改める。

→主な業績リスト

II ・募集項目の①～④は変更なしとする。

・審査方法は、昨年同様、全体の応募件数が分かった時点で、委員長が適切と思われる方法を提案し、各選考委員の了解を得る。

(2) 第26回研究助成の実施(第27回研究助成選考委員会)

□ 公募期間:2019年8月26日～10月28日

□ 募集テーマ内容: I 通常募集、II 特別募集とも同様

① 新水素エネルギー技術(常温核融合、凝集系核科学及びそれらから派生した技術)

② 熱電変換素子技術

③ 熱エネルギー貯蔵技術

④ 熱・電気エネルギーに関するシステム技術

□ 応募件数:56件(通常募集43件、特別募集13件)

□ 研究期間:2019年12月～2020年11月

□ 2019年度第27回研究助成選考委員会の開催(11月28日)

委員長:國松 敬二    元 山梨大学客員教授

委員:太田健一郎    横浜国立大学グリーン水素研究センター 名誉教授

                            小山 昇            エンネット株式会社 取締役社長

                            笠木治郎太        東北大学 電子光理学研究センター 研究教授

                            亀井 淳史        株式会社テクノバ 顧問

                            岸田 昌浩        九州大学大学院 教授

河本 邦仁 名古屋産業科学研究所 上席研究員  
吉野 淳二 東京工業大学名誉教授

- 助成対象者: I 通常募集 10 名(助成金額 1,000 万円/1,000 万円)の選出  
II 特別募集 2 名(助成金額 600 万円/600 万円)の選出
- 次期選考委員長の選出: 國松敬二選考委員長が任期 2 年を終了するため、次期選考委員長として、吉野淳二委員を選出した。

4. 普及・啓発(定款第 3 条 5 号関係)

- セミナー・研究会などの講演集・講演録を作製・配布する。

No	名称	発行日	部数
①	第 73 回技術研究会講演録	2019 年 8 月	30
②	第 74 回技術研究会講演録	2019 年 11 月	30
③	第 75 回技術研究会講演録	2020 年 2 月	30
④	研究助成対象者講演会講演録	2019 年 12 月	30
⑤	財団会報誌第 28 号	2020 年 3 月	400